

いじめ防止「きずな」アクション

仙台市立松陵中学校

- いじめをなくすために、①生徒同士がお互いのことを理解する。
②生徒同士がお互いを尊重し合う。

「フレンドトークタイム・解決裁判・学年給食会」

今回の取組は、各学級から提案された今年度のいじめ防止きずなアクションを中央委員会で絞り込み、決定した。

①フレンドトークタイム

松陵中の伝統行事になっているフレンドトークタイムは、毎回決められたテーマについて理由付きで話し、それについて自由に討論する。「批判をしないこと」「相手を尊重する」ことを重視してお互いに受け入れ合い、相互理解を深めるのが目的である。それに基づき、生徒会執行部で話し合いのテーマを検討して実施した。第1回は12/18、第2回～第4回は1～3月に月1回ずつ行う予定である。



②解決裁判

クラス内での良いこと悪いことを生徒一人一人がアンケート用紙に無記名で記入し、良いことについてはクラス内で発表して継続を促し、悪いことについては個人攻撃にならないように配慮しながら解決策を討論し合う。(実施は1月以降)

③学年給食会

学年ホールに学年全員が着席し、対面形式で給食を楽しむ。本校の給食は自校方式で大変評判が良く、じっくりと味わいながら会話の花が咲く。本校は少人数校で、一つの学年が他校の一つの学級程度の規模であるため、各学年とも和気あいあいとした空気の中で生活している。この行事は各学年の一体感を感じるのにとっても適した行事である。(実施は1月以降)

- ・友達の意外な面や人柄を知ることができた。
- ・苦手意識があった人が少し身近に思えた。
- ・この企画を毎年行うのを松陵中の伝統にしたい。